

《五十嵐曉郎先生業績目録》

一九八六年六月 有斐閣選書

日本通史第16卷近代Ⅰ（「旧幕臣の明治維新」を執筆）

岩波書店 一九九四年

一 著 書

二十世紀の千人 第一卷 世紀の巨人・虚人

朝日新聞社 一九九五年一月（共著）

民主化時代の韓国 政治と社会はどう変わったのか 1987-

1992

二十世紀の千人 第六卷 メディア社会の旗手たち

朝日新聞社 一九九五年二月（共著）

一九九三年一月 世織書房

二十世紀の千人 第二卷 戦争と革命の中の闘争者

朝日新聞社 一九九五年四月（共著）

新・アジアのドラマ ポスト冷戦・高度経済成長の光と影

一九九五年一月 潮出版社

二十世紀の千人 第四卷 多様化する〈知〉の探究者

朝日新聞社 一九九五年五月（共著）

明治維新の思想

一九九六年六月 世織書房

田中角栄、ロンググッドバイ

潮出版社 一九九五年五月（共編著）

日本政治論

二〇一〇年九月 岩波書店

環日本海交流辞典 95-96（第3部国内編「地方自治体の

国際交流の進展と政策評価の必要性」を執筆）

創知社 一九九五年八月

二 共 著・編 著・共 編 著

足尾鉍毒事件研究 鹿野政直編

一九七四年 三一書房（共著）

二十世紀の千人 第一〇卷 マーシナル・ピープル

朝日新聞社 一九九五年一月（共著）

北一輝論集

一九七九年一〇月 三一書房（編著）

THE JOURNAL OF PACIFIC ASIA 'From Americaniza-

昭和同時代を生きる―それぞれの戦後 内山秀夫・栗原彬編

（共著）（全共闘世代を執筆）

tion to "Japanization" in East Asia? The Committee of Pacific Asia Studies（編著）

- 一九九七年
 変容するアジアと日本 アジア社会に浸透する日本のポピュ
 ラーカルチャー
 一九九八年二月 世織書房(編著)
 COMPREHENSIVE SECURITY IN ASIA, Kurt D. Radtke &
 Raymond Fedema ed. BRILL 2000 (共著)
 ("Okinawa: An Aporia in the Security of the Asian
 Pacific Region."を執筆)
 諸外国における政治への女性の参画に関する調査研究(「韓
 国における女性の政治参画」を執筆)
 内閣府編 二〇〇一年三月(共著)
 現代市民政治論 高嶋通敏編
 二〇〇三年二月 世織書房(共著)
 全球化與東亜政治(中国語)
 二〇〇三年 天津人民出版社 (「全球化与日本政党的政
 策形成」を執筆)(共著)
 東アジア安全保障の新展開
 二〇〇五年四月 明石書店(共編著)
 平和研究講義 高嶋通敏著
 二〇〇五年八月 岩波テキストボックス(共編)
 平和とコミュニケーション
 二〇〇七年九月 明石書店(共編著)
 象徴天皇の現在 政治・文化・宗教の視点から
- 二〇〇八年六月 世織書房(編著)
 高嶋通敏集 3
 二〇〇九年五月 岩波書店(共編)
 高嶋通敏集 2
 二〇〇九年七月 岩波書店(共編)
 高嶋通敏集 1
 二〇〇九年九月 岩波書店(共編)
 高嶋通敏集 5
 二〇〇九年一〇月 岩波書店(共編)
 高嶋通敏集 4
 二〇〇九年一二月 岩波書店(共編著)
 法学部五〇年史(「一九六八年前後」を執筆)
 二〇一〇年三月
 地方自治体の安全保障
 二〇一〇年八月 明石書店(共編著)
- 三 翻 訳
 ケネス・パイル『新世代の国家像 明治における欧化と国
 粹』(松本三之介監訳)
 一九八六年 社会思想社

四 論 文

思想の科学 一九八一年五月

■一九七六年

創造と共感を求めて―全共闘世代の学問観―

思想の科学 一九七六年一月

■一九八七年

米国のなかのラテン・アメリカ

立教大学ラテン・アメリカ研究所報 No.15 一九八七年五月

■一九七八年

北一輝研究の現在

第三文明 一九七八年五月

■一九八八年

ポストオリソピックの韓国―どう変わるかアジアの経済地図

潮 一九八八年七月

■一九八〇年

足尾鉍毒運動と転向―左部彦次郎の生涯 『田中正造と足尾

鉍毒事件研究』

伝統と現代社 第三号 一九八〇年八月

■一九九〇年

韓国は三月実施 日本は土地公有化の強権がなぜ発動できな

い！

サピオ 一九九〇年四月号

■一九八一年

生涯にわたる自治の闘争 田中正造 日本の地方自治論

歴史と群像 地方自治職員研修 臨時増刊号六号 一九

八一年三月

孤立を恐れぬ土民哲学 石川三四郎 日本の地方自治論

歴史と群像 地方自治職員研修 臨時増刊号六号 一九

八一年三月

三十年前のファシズム論 戦後の展望と錯誤

（語）

The Economist 一九九〇年三月五日

「冷戦の海」から「平和と繁栄の海」へ

月刊アサヒ 一九九〇年五月号

ジャーナリズムの「現在」を問う 新潟日報記者たちの西山

町事件

潮 一九九〇年一〇月

■一九九一年
自民党―長期支配の構造 (英語)

The Japan Foundation Newsletter Vol.XVIII/No.3
現代日本政治の政治文化 (韓国語)

日本評論 一九九一年 春号
地方の新時代なのか? ―現代日本の地域の課題と権力
(韓国語)

Japan Forum '91 秋季号

■一九九二年

新・アジアのドラマ①―深圳の「実験」は成功したか

潮 一九九二年二月 新・アジアのドラマ所収

■一九九三年

新・アジアのドラマ②―上海・浦東にて「改革・開放」の矢
は放たれた

潮 一九九三年一月 新・アジアのドラマ所収

新・アジアのドラマ③―アジアのなかの中国 ニューウェー

ブ・シネマのレンズを通して

潮 一九九三年二月 新・アジアのドラマ所収

新・アジアのドラマ④―ソウルにて ポスト「民主化時代」

へむかう韓国政治

潮 一九九三年三月 新・アジアのドラマ所収

新・アジアのドラマ⑤―大田 (テジョン) にて 「韓国病」
は克服できるか

潮 一九九三年四月 新・アジアのドラマ所収

新・アジアのドラマ⑥―韓国映画の世界から 積年の社会矛
盾に悩む世代

潮 一九九三年五月 新・アジアのドラマ所収

新・アジアのドラマ⑦―バンコクにて 民主化への道歩む
「第五の龍」

潮 一九九三年六月 新・アジアのドラマ所収

新・アジアのドラマ⑧―タイ・ファイヒン村にて 微笑みの
裏側の矛盾

潮 一九九三年七月 新・アジアのドラマ所収

新・アジアのドラマ⑨―社会派監督の映像世界 タイ社会に
落とす「メイド・イン・ジャパン」の陰

潮 一九九三年八月 新・アジアのドラマ所収

新・アジアのドラマ⑩―シンガポール、クアラルンプールに
て 台頭する ASEAN の外交と経済

潮 一九九三年一月 新・アジアのドラマ所収

一つの典型としての民主化 (韓国語)

JAPAN Forum 1993.bom

新・アジアのドラマ⑪―シンガポールにて かげりが見えた

グリーン・アンド・クリーン 政治

潮 一九九三年一月 新・アジアのドラマ所収

新・アジアのドラマ⑫―マレーシア、バド・パハにて 多民族国家のジレンマ

潮 一九九三年二月 新・アジアのドラマ所収

■一九九四年

新・アジアのドラマ⑬―台北にて 中国大陸を見据える昇竜

潮 一九九四年一月 新・アジアのドラマ所収

新・アジアのドラマ⑭―台北にて 賭けて 国際的孤立からの脱却を

潮 一九九四年二月 新・アジアのドラマ所収

新・アジアのドラマ⑮―高雄にて ニューシネマの旗手が描く台湾社会の現実

潮 一九九四年三月 新・アジアのドラマ所収

新・アジアのドラマ⑯―香港にて 九七年へ カウントダウンが進む「香港返還」

潮 一九九四年四月 新・アジアのドラマ所収

新・アジアのドラマ⑰―香港にて 拠地 拡大する華南経済圏の本

潮 一九九四年五月 新・アジアのドラマ所収

新・アジアのドラマ⑱―香港にて 「永遠の旅人」と「中国人」のはざままで

潮 一九九四年六月 新・アジアのドラマ所収

■一九九五年

地方自治の新时代：現代日本社会の問題と権力(韓国語)

Chan-hyun Cho, Manfred Ziemek ed. 地域発展と地方自治団体の役割

Center for Local Autonomy Hanyang University 1995

A New Age for Local Autonomy : Issues and Power in Contemporary Japanese Communities, Chan-hyun Cho,

Manfred Ziemek ed. Local Development and the Role of Local Government.

Center for Local Autonomy Hanyang University 1995.

新・アジアのドラマ 溶解した二つの境界線

月刊私学公論 一九九五年二月

■一九九六年

初の小選挙区選挙にあらわれた日本政治の展望(社) 中央政策研究所研究セミナー

一九九六年十一月

新・総選挙―誰の、誰による、誰のための？

潮 一九九六年二月

■一九九七年

宮城県知事選が問うたもの

潮 一九九七年二月

■一九九八年

なぜ沖繩だけが基地の重圧に苦しむのか

潮 一九九八年四月

政策論争無き参院選「無党派層」の決断

潮 一九九八年八月

■一九九九年

沖繩—アジア太平洋地域安全保障のアポリア

立教法学 五二号 一九九九年

■二〇〇二年

グローバルゼーションと日本の政党の政策形成

立教法学 六一号 二〇〇二年

The unacknowledged Structural Transformation of "Americanization": The East Asian Perspective

二〇〇二年四月 Social Science Research Council of

website (<http://conflicts.ssrc.org/USA?igarashi>)

に掲載

■二〇〇三年

公平性を求めて—日本の環境問題における住民投票の機能

立教法学 六四号 二〇〇三年

■二〇〇六年

NGO活動のベースキャンプとしての東京

立教法学 七二号 二〇〇六年

■二〇一〇年

菅直人の政治—市民運動とリアリズム

都市問題 二〇一〇年一月

■二〇一二年

最終講義 原発社会の権力構造と将来の展望

法学周辺 立教大学法学会 二〇一二年三月

五 小論文

■一九七六年

昭和の序幕 人物列伝 昭和日本史一 昭和の序幕

教育図書出版 一九七六年十二月

■一九七七年

近代日本の官僚群像「八百萬の神々」「専門官僚の登場」「フ

アシズムと革新官僚」

地方自治職員研修 一九七七年一月

■一九七八年
自己紹介をかねて

思想の科学・会報 九一号 一九七八年八月

保守化と他者志向

進路研究 一九七八年六月

■一九七九年

片山潜、安部磯雄

地方自治職員研修 一九七九年一月号

■一九八四年

海外のアフリカ研究 アメリカのアフリカ学会及び主な大学
におけるアフリカ研究の動向

日本アフリカ学会会報 第一六号 一九八四年八月
正造翁七〇回忌記念座談会 田中正造研究の現状と課題―研
究の新しい段階を迎えて―

『田中正造と足尾鉍毒事件研究』伝統と現代社 第六号
一九八四年八月

■一九八六年

晴雨計 「フライデー」

新潟日報 一九八六年八月四日

晴雨計 「大学の魅力」

晴雨計 「海外旅行と保守化」
新潟日報 一九八六年八月一日

晴雨計 「リクルート・ルック」
新潟日報 一九八六年八月二八日

晴雨計 「めざせダウニング街十番地」
新潟日報 一九八六年八月二五日

晴雨計 「第三世界の桃源郷」
新潟日報 一九八六年九月一日

晴雨計 「藤尾発言とジャーナリズムの責任」
新潟日報 一九八六年九月八日

晴雨計 「ゴルフ・バッグと社会党」
新潟日報 一九八六年九月二五日

晴雨計 「単一民族」国家論の閉鎖性」
新潟日報 一九八六年九月二二日

晴雨計 「世襲政治」
新潟日報 一九八六年九月二九日

晴雨計 「メキシコの革命伝説」
新潟日報 一九八六年一〇月六日

晴雨計 「日本人が国境を越えるとき」
新潟日報 一九八六年一〇月二三日

晴雨計 「日本人が国境を越えるとき」
新潟日報 一九八六年一〇月二〇日

■一九八七年

日本とアメリカ―地球時代の課題

読売新聞 一九八七年一〇月一五日 夕刊

アジアと日本の平和…日本人の平和観

国際女性平和自由連盟会報 一九八九年五月

■一九八八年

田中―竹下にみる政治風土(外から見える日本、内から見え

ない日本(特集))

中央公論 一九八八年一月(インタビュー)

延世大学で教えながら(韓国語)

日本文化院ニュースレター 一九八九年六月一日

話し合いの政治へ―新時代に入った韓国

共同通信配信 一九八八年一月

同時代の政治を問う 戦後県政 最大の転換

新潟日報 一九八九年六月二八日

〃日本社会党、韓国と手をつなぐこと〃(韓国語)

ソウル新聞 一九八九年七月二六日

同時代の政治を問う 権力の腐敗防ぐ政権交代

新潟日報 一九八九年七月二九日

■一九八九年

ブッシュ演説

方向異なる二つの基調 読売新聞 一九八九年二月一四日 夕刊

同時代の政治を問う 日本社会をどう開くか

新潟日報 一九八九年一〇月三日

住居を求めて

新潟日報 一九八九年二月二八日

同時代の政治を問う その軌跡

新潟日報 一九八九年一〇月三十一日

同時代の政治を問う

戦後保守政権、最大の危機 新潟日報 一九八九年三月三一日

同時代の政治を問う

田中角栄の政治④ 創造と遺産 新潟日報 一九八九年一月二日

今月の焦点 一九八九年政局の展望

平和経済 一九八九年四月

同時代の政治を問う

田中角栄の政治⑤ 地元支配 新潟日報 一九八九年一月三日

同時代の政治を問う

県政の方向決める知事選

同時代の政治を問う

東欧をゆさぶる変革の波 新潟日報 一九八九年一月二九日

■一九九〇年

九〇年代の国際秩序と韓半島（韓国語）

潮 一九九〇年一月

光州日報 一九九〇年一月二一日

同時代の政治を問う 成熟した政党政治を期待

■一九九一年

新潟日報 一九九〇年二月二八日

フォーラムを見て 飛躍願う熱気痛感

同時代の政治を問う 大転換迫る日米構造協議

新潟日報 一九九一年二月一〇日

新潟日報 一九九〇年三月二九日

私の視点 環日本海圏構想の理念を示せ

同時代の政治を問う 政治が見えない土地問題

新潟日報 一九九一年三月八日

新潟日報 一九九〇年四月二七日

激動する世界と平和・自由の条件

激動の八〇年代から九〇年代へ 激動する世界と日本の政治

婦人国際平和自由連盟日本支部 一九九〇年婦人の国際

立教 一九九〇年五月

協力に関する調査研究報告書 一九九一年三月

同時代の政治を問う 動き始めたアジアの国際社会

「草の根」活力 明と暗

新潟日報 一九九〇年六月二八日

読売新聞 一九九一年四月二五日 夕刊

日韓間のまなざしの二面性

曲がり角に立つ地方政治

Management & Coordination 一九九〇年七月 七二号

新潟日報 一九九一年四月三〇日

同時代の政治を問う 不治の病か田中型公私混同

新潟日報 一九九〇年七月三二日

■一九九二年

同時代の政治を問う 迫られる日本外交の自立

求められる政策的論議 曲がり角に立つ環日本海交流圏フォーラム

新潟日報 一九九〇年八月三〇日

新潟日報 一九九二年二月一五日

同時代の政治を問う いまこそ変革への活力を

地方自治―モノから心へ 生活充実へ カギ握る住民参加

新潟日報 一九九〇年九月二七日

北海道新聞 一九九二年三月一四日

緊急座談会「ポスト冷戦」時代の朝鮮半島と日本の立場（小

総選挙後の韓国 経済・地域開発がカギ 国民遊離にしらせ

此木政夫、小牧輝夫、チョン・ジョンギル、チェジン・

ムード

新潟日報 一九九二年四月三日

月刊私学公論 一九九五年八月号
新しいまちづくりの哲学と課題(一) 膨張する都市の時代は
終わった

■一九九三年

平山知事は大胆でダイナミックな県政を

市民じゃくなる 一九九五年八月一〇日

新潟日報 一九九三年一月二三日

日韓関係の現状と将来(韓国語)

大邱日報 一九九五年一月二二日

課題山積の金政権

新潟日報 一九九三年二月二六日

■一九九六年

遠い政治 怒り持続させて監視

山陽新聞 一九九三年三月一三日

住民投票の是非をめぐって

市民じゃくなる 一九九六年二月号

連載を読んで

新潟日報 一九九三年七月三〇日

アジアの変化を観察—日本先行の時代終わる

共同通信配信 一九九六年三月

揺れ動く心理を反映

朝日新聞 一九九六年七月二三日

勝手にやるぜ!—Paris町内勝手連が政治を変える

グッドプレス 一九九六年九月一〇日

「国策ノー」過半数懸案はポスト投票 基地の島の訴え

新潟日報 一九九六年九月一〇日

インターネットで現在のな問題論議を(インタビュー)

Kyodo Weekly 一九九六年一〇月七日

総選挙結果こう見る 争点見えず、勝ち馬に

新潟日報 一九九六年一〇月二二日

戦後の原風景 特集7「私の戦後」「戦後責任」

二つの住民運動を見て「民主主義の教科書」の実践

■一九九五年
波音 アセアンに文化交流の風が吹く

潮 一九九五年六月

和解を遮る嫌韓・反日風潮警戒の必要性(韓国語)

東亜日報 一九九五年六月一七日

ホントにいいの? 「三市合併促進決議」なんてまだよくわ

らないのに!!

市民じゃくなる 一九九五年七月号

市民じゃゝなる 一九九六年一〇月号

新潟日報 一九九七年一〇月二八日

新しいまちづくりの哲学と課題 沖縄県民投票はこうして実

文化の交差点、沖縄―新しい視座を求めて

現した(上)

アジアセンターニュース 一九九七年 Winter No.7 座談

市民じゃゝなる 一九九六年一月月号

会

新しいまちづくりの哲学と課題 沖縄県民投票はこうして実

エスニック料理に込められたアジア民衆と日本の交流史―ア

現した(下)

ジア料理店

市民じゃゝなる 一九九六年一二月月号

SAPIO 一九九七年一二月一〇日

論評 市民投票の重み2 本土エゴ突く「住民の刃」

■一九九七年

沖縄タイムス 一九九七年一二月一二日

社会人学生とともに「学び問う」試み

論評 市民投票示された民意 中 恥ずべき政府の行為

現代の高等教育 民主教育協会誌(三三八六) 一九九七

沖縄タイムス 一九九七年一二月二三日

年四月

日米防衛協力指針の見直し 国際社会に明確な顔を

■一九九八年

信濃毎日新聞 一九九七年六月一二日

「寄せる文」

女性が光り 地域が輝く 共通の課題追う姿に感動

山本孝史『議員立法…日本政治活性化への道』一九九八

新潟日報 一九九七年七月一八日

年二月

転換期の政治と社会に対応した報道を

政府の誘導政治にこそ批判を!!

新聞労連企画書 一九九七年七月二七日

市民じゃゝなる 一九九八年二月月号

『いま、新聞に言いたい』 転換期の政治と社会に対応した報

基地「健忘症」から議論へ 沖縄問題 根本的な解決の道

道を

朝日新聞 一九九八年二月一六日 夕刊

新聞労連／現代ジャーナリズム研究会 一九九七年一〇

法学周辺 インターネット・デイスカッションの試み

月一日

立教法学会 一九九八年三月

宮城県知事選が語るもの 徒手空拳で無党派つかむ

「民意の政治学」住民投票を考える 上 内発的な直接民主

政の誕生

朝日新聞 一九九八年四月一四日 夕刊 (コメント)

分権の顔 世界的つながり築け

北海道新聞 一九九八年六月二四日

来週の統一地方選に照準 めざせ女性議員 政治講座に熱気

日本経済新聞 一九九八年九月一四日 夕刊 (コメント)

ト)

市民投票の特徴 相対立した二つの選挙結果

沖縄タイムス 一九九八年一二月二〇日

■一九九九年

神島先生のフィリピン再訪

法学周辺 一九九九年三月

シカゴ大学訪問記

アジア地域研究 一九九九年三月

「普通の知事」の姿勢に危うさ

毎日新聞 一九九九年三月一日

地方選挙と有権者の目

赤旗 一九九九年四月七日

激震！東京都庁 官僚的言動が大嫌い 石原どう動くか

東京都知事選のこの結末とこれから

ゲンダイ 四月一三日コメント

有権者と議会の常識にギャップ

新潟日報 一九九九年五月二一日

浅沼稻次郎

朝日クロニクル 週刊二〇世紀 九〇一頁 一九九九年五月三〇日

グローバル化時代の安保研究

東京新聞 一九九九年九月九日

「真空総理」実はニヒリズム

しんぶん赤旗 日曜版 一九九九年九月二六日号

韓国をより深く知るために―なぜいま韓国の研究書を翻訳するの

二〇世紀にいがた一〇〇SCENE 日韓文化交流基金 News No.10 一九九九年

新潟日報 一九九九年一〇月二日

市民のきずな断たれた市長 政府は金で沖縄の心買った

沖縄タイムス 一九九九年一〇月一六日

知事の「辺野古」表明 識者評論 市民投票こそ地元判断

沖縄タイムス 一九九九年一二月二六日

ドラえもんが生み出す「アジア共生の家」

週刊プレイボーイ 二四四〜二四八頁 一九九九年一二月三日号

■二〇〇〇年

人脈とカネで築いた「数の支配」 竹下元首相の退場

しんぶん赤旗 日曜版 二〇〇〇年四月三日・五月七日合併号

国民世論に対して無神経

しんぶん赤旗 日曜版 一月三日・一月七日合併号

吉田茂 二つに割れている評価

潮 二〇〇〇年二月号

■二〇〇一年

カウントダウン一〇〇万都市 上 市政に「新住民」の声を

読売新聞 二〇〇一年四月二八日 コメント

W杯とカネ 上 責任の所在まず示せ

朝日新聞 二〇〇一年五月二日（インタビュー）

しがらみなき清新な人を

東京新聞 二〇〇一年五月二日（インタビュー）

小泉改革を見る目

共同通信配信 二〇〇一年六月

政治家の妻夫たち 多様化進む「家族の形」

新潟日報 二〇〇一年六月三〇日

洞察力で戦争の本質描け

朝日新聞 二〇〇一年九月七日

「お宝発見」

カレイ 立教大学図書館発行 二〇〇一年一〇月二日

テロ対策 最前線の自覚持て

この戦争の本質は何か

朝日新聞 二〇〇一年一〇月四日
朝日新聞 二〇〇一年一月九日

■二〇〇二年

名護市長選を読む（上） 岸本氏の意図的「誤解」

沖縄タイムス 二〇〇二年二月一三日

名護市長選を読む（下） 民意実現への努力必要

沖縄タイムス 二〇〇二年二月一四日

「普天間」代替協決定を問う 市長と市民の間に乖離

沖縄タイムス 二〇〇二年八月一二日

ヤッシー再選こう見る 県議は出直しを

スポーツ報知 二〇〇二年九月二日（コメント）

公共事業見直す好機「川辺川」反対に弾み

西日本新聞 二〇〇二年九月二日（インタビュー）

新潟 そして 東アジア 鼎談第3部 日中復興30年 小泉

訪朝

新潟日報 二〇〇二年九月二八日 座談会

新潟 そして 東アジア 鼎談第3部 日中復興30年 一気

呵成

新潟日報 二〇〇二年九月三〇日 座談会

新潟 そして 東アジア 鼎談第3部 日中復興30年 中国

の思惑

新潟日報 二〇〇二年一〇月一日 座談会

毎日新聞 二〇〇三年六月二九日

新潟 そして 東アジア 鼎談第3部 日中復興30年 田中
の決断

米国一辺倒は世界の現実から離れている

赤旗 二〇〇三年八月三日

新潟 そして 東アジア 鼎談第3部 日中復興30年 地方
間交流

衆院選への展望 曲り角自民 人気取り選挙

朝日新聞 二〇〇三年一〇月二七日

新潟日報 二〇〇二年一〇月二日 座談会

■二〇〇四年

新潟 そして 東アジア 鼎談第3部 日中復興30年 交流
の課題

当事者の多く増額「妥当」 「他に比べ安い」では根拠不十分

読売新聞 二〇〇四年五月一八日

新潟日報 二〇〇二年一〇月五日 座談会

一票の意味 識者に聞く 日本の将来方向づけ(コメント)

朝日新聞 二〇〇四年六月二四日

脱政党選挙とその背景 沖繩タイムス 二〇〇二年一月二二日

「ネット」型 新たな潮流

北海道新聞 二〇〇四年七月一日

赤旗 二〇〇二年二月二六日

神奈川参院選〇四

■二〇〇三年

毎日新聞(横浜支局) 二〇〇四年七月一二日

政党らしい政党の新鮮さ 「政党不要」ではない

識者談話 首相退陣にルール(コメント)

共同通信配信 二〇〇四年七月

将来像を示さぬ小泉改革

追悼 高島通敏・立教大名誉教授 生活者の政治学を追究

新潟日報 二〇〇四年七月一三日

ノムヒョン韓国大統領が残した課題 共同通信配信 二〇〇三年二月

「二大政党」で切捨てられる選択肢 参院選で「定着」など
していない

毎日新聞 二〇〇三年六月二二日

しんぶん赤旗 二〇〇四年七月二〇日

発言席 東アジアのための日韓協力

辺野古ボーリング調査開始

知恵蔵 二〇〇四年版 沖縄タイムス 二〇〇四年九月九日
日本政治の項を担当

■二〇〇五年

さまよう民意 さいたま市長選 一票の力 地道に発信

朝日新聞 二〇〇五年五月一〇日

The Japan times コメント

二〇〇五年六月二四日

エスニックレストランと東アジア現代史

立教大学アジア地域研究所ニューズレター No.14 二〇〇五年七月二〇日

立教大学と平和研究 戦後六〇年、「平和」について考える

雑誌立教 二〇〇五年七月二六日

8・15と憲法改正論議 新潟日報 二〇〇五年八月一三日

「二大政党制」は選択肢を切り捨てる

北海道新聞 二〇〇五年八月一四日（インタビュー）

8・15と憲法改正論議 あらためて平和問う

新潟日報 二〇〇五年八月一五日

05総選挙 巧みな戦略と言葉のマジック まるで洪水の跡

のよう

毎日新聞 神奈川版 二〇〇五年九月一三日

高島通敏『現代における政治と人間』

雑誌立教 二〇〇五年一〇月一〇日

新安全保障と専門家・NGOのトランスナショナル・コミュニティ

ニテイ

知恵蔵 二〇〇五年版

■二〇〇六年

エスニックレストランと東アジア現代史（続）

立教大学アジア地域研究所ニューズレター No.15 二〇〇六年一月二〇日

市民の安全保障

平和・コミュニティ研究機構ニューズレター 二〇〇六年二月一日

新しい安全保障の課題と海上保安庁に対する期待（特集：海の安全・安心をめざして―これからのジャパンコーストガード）

国土交通 二〇〇六年四月

他の地元同意難航も「負担」増に抵抗感示す

朝日新聞 二〇〇六年四月二四日

頭越しの国策に異議

朝日新聞（山形県版） 二〇〇六年四月二八日

民主党の選挙をめぐる分析

アジア地域研究所オケージョナルペーパー 二〇〇六年七月

七月

平和・コミュニティ研究機構の今後の課題(新代表挨拶)

平和・コミュニティ研究機構ニューズレター 二〇〇六年七月

年七月

各国NGOら台北に集い議論 直接民主制の意義確認

朝日新聞 二〇〇六年七月二四日

鮮明な「個人より国家」

赤旗 二〇〇六年九月一〇日

立教ジャーナル：ニュースの視点 二〇〇八年六月一六日

Asahi.com

■二〇〇七年

民意に政府圧力阻む力

朝日新聞山口版 二〇〇七年三月一三日

見透かされた視野の狭さ

赤旗 二〇〇七年六月三日

どうみる「自民党の危機」そのもの

赤旗 二〇〇七年九月二三日

政策に距離ない自民、民主

赤旗 二〇〇七年一月八日

■二〇一〇年

民主 問われる自浄能力 疑惑に背を向け検察と対決

(コメント)

しんぶん赤旗 二〇一〇年一月三一日

「韓国」の学術と文化」シリーズ 韓国の学術と文化紹介

日韓文化交流基金 News 二〇〇八年五月二二日

ワールド報告 壁画が花咲くミッション・ストリート
立教大学平和・コミュニティ研究機構ニューズレター

二〇一〇年二月

平和祈念の都市空間をつくる―広島市の構想

立教大学平和・コミュニケーション研究機構ニューズレター

二〇一〇年六月

国民不在 浮き彫り 民主党代表選の混迷 コメント

しんぶん赤旗 二〇一〇年九月五日

■二〇一一年

二〇一一年統一地方選挙―女性議員飛躍のチャンスに

女性展望 二〇一一年一月号

高島先生のフィールドワークとベトナム脱走兵支援活動

法学周辺 立教大学法学会 二〇一一年三月

開催校企画「東アジア〈共生〉の条件―『安全保障』の越境と転換」

平和学会ニュースレター用 報告

六書評

■一九七九年

花立三郎・杉井六郎・和田守編 同志社大江義塾 徳富蘇峰

資料集 三一書房

週刊読書人 一九七九年三月二二日号

松本清張著 北一輝論 講談社 一九七九年

週刊東京大学新聞 第二一八九号

立花雄一著 評伝 横山源之助―底辺社会・文学・労働運動

創樹社

朝日ジャーナル 一九七九年六月二九日

■一九八一年

初瀬龍平著 伝統的右翼 内田良平の研究

朝日ジャーナル 一九八一年三月二七日

■一九八二年

森長英三郎著 足尾鉍毒事件 上・下 反公害運動に占める

裁判闘争の重味を明かにする

朝日ジャーナル 一九八二年五月七日

■一九八六年

Friedrich Katz, *The Secret War in Mexico—Europe, the*

United States and the Mexican Revolution, 1981,

University of Chicago Press

アジア経済 一九八六年二月号

C・F・サムス著 竹前榮治訳 DDT革命

共同通信配信 一九八六年九月

■一九八八年

戴国輝著 台湾―人間・歴史・心性 岩波新書

共同通信配信 一九八八年一月

■一九八九年

江崎泰子・森口秀志編「在日」外国人 晶文社

共同通信配信 一九八九年一月

■一九九〇年

田中直毅著 日本のヴィジョン 講談社

共同通信配信 一九九〇年九月

平松守彦著 「一村一品」で過疎化に抵抗 岩波新書

共同通信配信 一九九〇年一〇月

■一九九一年

五島隆夫著「慶北マフィア」アイベックプレス

週刊ポスト 一九九一年一月二五日

佐和隆光著 これからの経済学 岩波新書

共同通信配信 一九九一年四月

新藤宗幸著 現代政治のオートルタナティヴ 筑摩書房

共同通信配信 一九九一年五月

パット・チョート著 影響力の代理人 早川書房

共同通信配信 一九九一年六月

藤間丈夫著 動き始めた環日本海経済圏 創知社

小川和男・小牧輝夫編 環日本海経済圏 日本経済新聞社

新潟日報 一九九一年七月一日

色川大吉著 昭和史と天皇 岩波書店

共同通信配信 一九九一年八月

デイビッド・ハルバースタム著 戦争ゲーム 講談社

共同通信配信 一九九一年九月

李泰著 南部軍 平凡社

共同通信配信 一九九一年九月

入江昭著 日米関係五十年 岩波書店

共同通信配信 一九九一年九月

天江喜七郎著 息子への手紙 学生社

共同通信配信 一九九一年一〇月

■一九九二年

江波戸哲夫著 西山町物語 文芸春秋

共同通信配信 一九九二年一月

アウンサン・スーチー著 自由 集英社

共同通信配信 一九九二年一月

信濃毎日新聞報道部 扉を開けて 明石書店

共同通信配信 一九九二年二月

クリストフ・ハイン著 僕はあるときスターリンを見た み

ずず書房

新藤宗幸著 行政指導 岩波新書
共同通信配信 一九九二年四月

ウォルター・ラカー著 スターリンとは何だったのか 白須
英子訳 草思社
共同通信配信 一九九三年一月

レナト・コンスタンティノ編 日本の役割 びすく社
共同通信配信 一九九二年五月

丸山眞男著 忠誠と反逆 筑摩書房
共同通信配信 一九九二年七月

大嶽秀夫著 二つの戦後・ドイツと日本 日本放送出版協会
共同通信配信 一九九二年八月

大陸市場を舞台に韓日競争本格化(韓国語)
ソウル新聞 一九九二年九月四日

共同通信配信 一九九二年七月

共同通信配信 一九九二年八月

共同通信配信 一九九二年七月

共同通信配信 一九九二年七月

共同通信配信 一九九二年七月

共同通信配信 一九九二年七月

共同通信配信 一九九二年七月

共同通信配信 一九九二年七月

共同通信配信 一九九二年七月

共同通信配信 一九九二年七月

共同通信配信 一九九二年七月

共同通信配信 一九九二年七月

共同通信配信 一九九二年七月

共同通信配信 一九九二年七月

共同通信配信 一九九二年七月

共同通信配信 一九九四年

佐和隆光著 平成状況の政治経済学

共同通信配信 一九九四年二月

村松岐夫著 日本の行政

共同通信配信 一九九四年六月

ウォルター・アイザックソン著 キッシンジャー(上・下)

別宮貞徳監訳 日本放送出版協会

共同通信配信 一九九四年七月

J・K・フェアバンク著 中国回想録 みすず書房

共同通信配信 一九九四年八月

ビン・シン著 評伝 徳富蘇峰―近代日本の光と影 杉原志

啓訳 岩波書店
週刊ポスト 一九九四年一月一日

共同通信配信 一九九四年三月

共同通信配信 一九九四年三月

共同通信配信 一九九四年三月

共同通信配信 一九九四年三月

共同通信配信 一九九四年三月

共同通信配信 一九九四年三月

今井一著 住民投票 岩波新書

共同通信配信 二〇〇〇年十二月

■二〇〇六年

マーク・カーランスキー著 1968 世界が揺れた年

共同通信配信 二〇〇六年五月

■二〇〇一年

文明子著 朴正熙と金大中 阪堂博之訳 共同通信社

共同通信配信 二〇〇一年二月

■二〇〇七年

杉本仁著 選挙の民俗誌―日本の政治風土の基層 新泉社

共同通信配信 二〇〇七年八月

■二〇〇二年

古関彰一著「平和国家」日本の再検討 岩波書店

共同通信配信 二〇〇二年六月

■二〇一〇年

ジョン・W・ダワー 昭和 戦争と平和の日本 みすず書房

共同通信配信 二〇一〇年四月

■二〇〇四年

丸楠恭一 坂田顕一 山下利恵子著 若者たちの《政治革命》中公新書ラクレ

共同通信配信 二〇〇四年四月

■二〇一一年

大澤真幸 斎藤美奈子 橋本努 原武史編 一九七〇年転換

期における『展望』を読む 筑摩書房

共同通信配信 二〇一一年二月

門奈直樹著 現代の戦争放送 岩波新書

雑誌立教 二〇〇四年七月

太田昌克著 盟約の闇 日本評論社

共同通信配信 二〇〇四年九月

七 座談会

■一九九五年

特集 環日本海フォーラム・イン秋田 パネルディスカッション

■二〇〇五年 韓洪九著 韓国現代史Ⅱ 高崎宗司訳

共同通信配信 二〇〇五年八月

ヨシ・第二部 環日本海圏交流・協力の課題

月刊地方政治 第四二三号 一九九五年二月二〇日

特集・日韓正常化三〇年 過去から未来へ 長い歴史を長い

目で読む(田中優子、鄭大均)

GAIKO FORUM 一九九五年六月

ボラダレス化するアジアの大衆文化(スリチャイ・ワンゲ

オ、斉藤英介、鄭大均)

潮 一九九五年一〇月

■一九九九年

緊急座談会 ガイドラインを考える―誰のための「安全保

障」か

潮 一九九九年四月

総括座談会 女性議員進出の背景と今後

婦人展望 '99 六月号

■二〇〇六年

第一六四通常国会を振り返る 小泉政権の総括と今後の政治

女性展望 二〇〇六年九月号

八 講演・報告

■一九八四年

Interpretations of History in Contemporary Japan

シカゴ大学 Department of Far Eastern Studies ヤマ

ナ 一九八四年一二月

■一九九〇年

日韓文化交流について

社団法人 経済同友会

■一九九二年

The Emperor System in Modern Japan

シカゴ大学・ミシガン大学・中西部日本研究会

■一九九三年

環日本海交流圏における自治体外交―その展望と課題

新潟日報社政経懇話会 一九九三年三月二〇日

日韓関係の新しい展開

新潟日報社政経懇話会 一九九三年七月一五日

■一九九四年

Globalization and Japan's Cities: Tokyo, Niigata and Okinawa

グローバルゼーション研究会 一九九四年三月二〇〜二

二日(シカゴ大学)

A New Age for Local Autonomy? Issues and Power in

Contemporary Japanese Communities

The Center for Local Autonomy, Hanyang University &

Friedrich Naumann Foundation Seoul, Korea 一九九四
年一〇月五日

初の小選挙区にあらわれた日本政治の展望

(社) 中央政策研究所 研究セミナー 一九九六年一〇
月二九日

■一九九五年
自治体における国際交流

“Cities in a Time for Paradigm: Rethinking Modern

ERINA 賛助会員九月セミナー 一九九五年九月二八日

Urbanism”
Seoul Metropolitan Forum 1996 一九九六年二月一〇
日

■一九九六年

自立した都市づくりを目指してーパネルディスカッション

■一九九七年

政令指定都市シンポジウム in Yono 1996 一九九六年二

Globalization and Japanese Cities

月二四日

International Conference on Globalization, City and

“From Americanization to ‘Japanization’ in East Asia [?]”

Youth in Cairo 一九九七年三月二〇日 (カイロ)

立教大学国際シンポジウム 一九九六年三月二〇日

変わるう県庁！変えよう県庁！シンポジウム 「政治学・財

The Present and Problems of Asian Studies in Japan

政学等の学者、ジャーナリストによる問題提起」

Association of Asian Studies Honolulu, Hawaii 一九九六

新潟県庁にて 一九九七年六月六日

年四月一日

未完の夢 幕末維新人物列伝 「幕臣たちの幕末維新」

大転換期のアジア太平洋地域と日本

品川区立品川歴史館 一九九七年六月七日

新座市講演 一九九六年九月二七日

日本のマスコミの選挙報道

日本の官僚と政治 第二回 「近代官僚の成立・大久保利

韓日言論セミナー (ソウル 韓国プレスセンター) 一

通・洪沢栄一・杉浦謙」

九九七年七月四日

アサヒカルチャーセンター 一九九六年一〇月二日

政治・行政と地域の住民

選挙制度改革下の総選挙ー選択の基準は何か

労組幹部政策懇話会 一九九七年一〇月二三日

市川房枝記念館 一九九六年一〇月一九日

■一九九八年

シンポジウム…日本と朝鮮半島

ヒューマンセキュリティ 早稲田大学 一九九八年

Okinawa: An Aporia in the Security of the Asian Pacific

Region.

葉山ジョイント・ワークショップ 一九九八年一月二三日

日

政治・行政と地域住民

全国労組生産性会議中央委員会 記念講演 一九九八年

五月二三日

政治家のエートスと構想…維新の指導者群について

政治思想学会 一橋大学 一九九八年五月二四日

冷戦後の日本外交

日韓政治学会共同研究(ソウル) 一九九八年八月一日

日

グローバル化と日本政治

Asia in Global Context Asian Studies Association of

Australia 12th Biennial Conference (メルボルン) 一九九八年九月二八日

一九九九年

■一九九九年

The Necessity of a Debate on Comprehensive Security

Association of Asian Studies シカゴ大学 一九九九年

年三月一七日

共同研究「グローバル化するアジアにおける包括的安全保障

と異文化理解」

アジア研究・学術フロンティア 第二回セミナー 一九九九年六月二九日

一九九九年六月二九日

私の学生時代の今日的意味

稲門経済倶楽部総会 早稲田大学大隈会館 一九九九年

七月一七日

二〇〇二年ワールドカップ日韓共催は両国理解の道を開くか

日韓学生フォーラム 一九九九年八月一六日

男女共生を進める県民のつどい「男女共同参画で拓く、二一

世紀を考える」パネルディスカッション

山梨県立文学館 一九九九年九月四日

経済改革がカギに 日報政経懇

上越市 新潟日報 一九九九年一〇月二二日

■二〇〇〇年

なぜ日本の政治は女性を受け入れないのか

参議院調査会 二〇〇〇年三月一日

脱政党選挙…九七年宮城県知事選挙

選挙学会報告 武蔵工業大学 二〇〇〇年五月二〇日

抗戦・分裂・展開 日本の国家は退場するか

アジア研究・学術フロンティア ワークショップ 二〇〇〇年

一九九九年

〇〇年七月二日

■二〇〇一年

地域政治と住民投票

新潟市民大学「政治を市民の手に」二〇〇一年三月二

〇日

Tokyo as a Base Camp for NGO

The Third ASFRP Symposium Globalization and the
Urban Community 二〇〇一年六月二九日

社会の構造転換と政党の政策能力

日本政治学会 二〇〇一年七月六日

小泉政権と参院選のゆくえ

新潟日報社政経懇話会七月例会 二〇〇一年七月二六日

The Struggle for Direct Democracy in Local Japanese
Politics

International Workshop on Local Autonomy and Civic
Society at Seoul, Hanyan University 二〇〇一年一〇

月八日

社会の構造転換と政党の政策能力：グローバルゼーションを

めぐって

アジア研究・学術フロンティア 二〇〇一年十一月一六

日

政治を市民の手に

新潟市民大学 二〇〇一年二月二日

■二〇〇二年

社会構造の変化と最近の選挙

埼玉県市町村選挙管理委員会 総会 二〇〇二年二月一
二日

自治体の課題・時代の変化に対応して

嵐山町議会議員研修会 二〇〇二年二月二七日
政治学から見る日本政治：「小泉改革」とは何だったのか

旭川ロータリークラブ 二〇〇二年五月一〇日

In Search of Equity: The Rights of Local Referendum
Japanese Environmental Issues

Tamaki Foundation Project on Environment Policy and
Law, in Seattle Washington 二〇〇二年七月二七日

グローバルゼーションと日本の政党の政策形成 「グローバ
ルゼーションと東アジアの政治・行政改革」

南開大学日本研究センター 二〇〇二年九月七日

日本の安全保障論のパラダイムシフト

アジア研究・学術フロンティア 二〇〇二年九月二九日

■二〇〇三年

小泉内閣のこれまでと今後のゆくえ

岩手二戸地区情報文化研究会二月例会 二〇〇三年二月

七日

グローバルゼーションと日本の安全保障

アジア研究・学術フロンティア第四回セミナー 二〇〇

三年三月一二日

さいたま市の合併と住民投票

東松山市 二〇〇三年五月二五日

石田雄「市民運動からみた90年代」社会科学研究所(コメン

ト)

二〇〇三年十一月一四日

■二〇〇五年

政治講座 合併と地方自治Ⅱ―合併後の地方自治

さいたま市民講座 二〇〇五年一月二二日～二月五日

「構造改革」の思想

「現代日本の精神史」立教大学国際シンポジウム 二〇

〇五年七月一六日

市民社会と日本(アジア)の条件

世田谷市民大学 二〇〇五年一〇月～一二月

■二〇〇六年

Direct Democracy in Japan

International Direct Democracy ベルン 二〇〇六年

七月一六日

「構造改革」の思想

稲門経済倶楽部 総会 二〇〇六年七月二二日

■二〇〇七年

オンデマンド授業ビデオ「平和と安全保障」(佐々木寛氏と

共同制作)

早稲田大学・立教大学共同制作 二〇〇七年二月

ワークショップ「東アジアにおけるコミュニティと平和の構

築」平和コミュニティ研究機構

二〇〇七年八月二一日

住民投票近年の状況 住民投票台北会議

二〇〇七年一〇月二八日

市民の安全は誰が「保護」するのか

立教大学経済学部一〇〇周年記念 公開シンポジウム

「日本社会におけるリスクの政治経済」二〇〇七年一

月一一日

■二〇〇八年

全学共通カリキュラム運営センター主催「eラーニングと全

キャリアその可能性を考える」大学教育におけるeラー

ニングの現状とその可能性 事例報告 オンデマンド授

業「平和と安全保障」の試み 立教大学のeラーニング

環境の支援体制

大学教育研究フォーラム 二〇〇八年

キリスト教大学で教育・研究すること

RUM (Rikkyo University Mission) 二〇〇八年度 チ

ヤベル講演会 二〇〇九年十二月二日

■二〇〇九年

The Peace Policies of Japanese Cities 日本の都市の平和政策

聖公会大学シンポジウム ソウル 二〇〇九年七月二三日

■二〇一〇年

市民はどう選択すべきか―参院選を前に

佐賀講演 二〇一〇年七月

■二〇一一年

原発社会の権力構造と将来の展望

立教大学法学部 最終講義